

CASIO

IDC-400J/IDC-450J

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げくださいますと誠にありがとうございます。
本長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

本機の特長

- 電波時計（国内 2 局対応自動選局機能付）
福島県「おおたかや山」(40kHz)
佐賀県と福岡県の境「かね山」(60kHz)
- 電波受信機能のオン／オフ切り替え
- 音声ガイド機能
- カレンダー表示は、当日の日付と 1 か月分をフル表示
- 六曜表示機能や、西暦／年号の表示切替機能、第何曜日表示
- 時報機能
- センサーにより、温度・湿度を表示
- 生活環境お知らせ機能

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。


警告


この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。


注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- 

△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。
- 

⊘ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。
- 

● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてけがや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

電池について

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

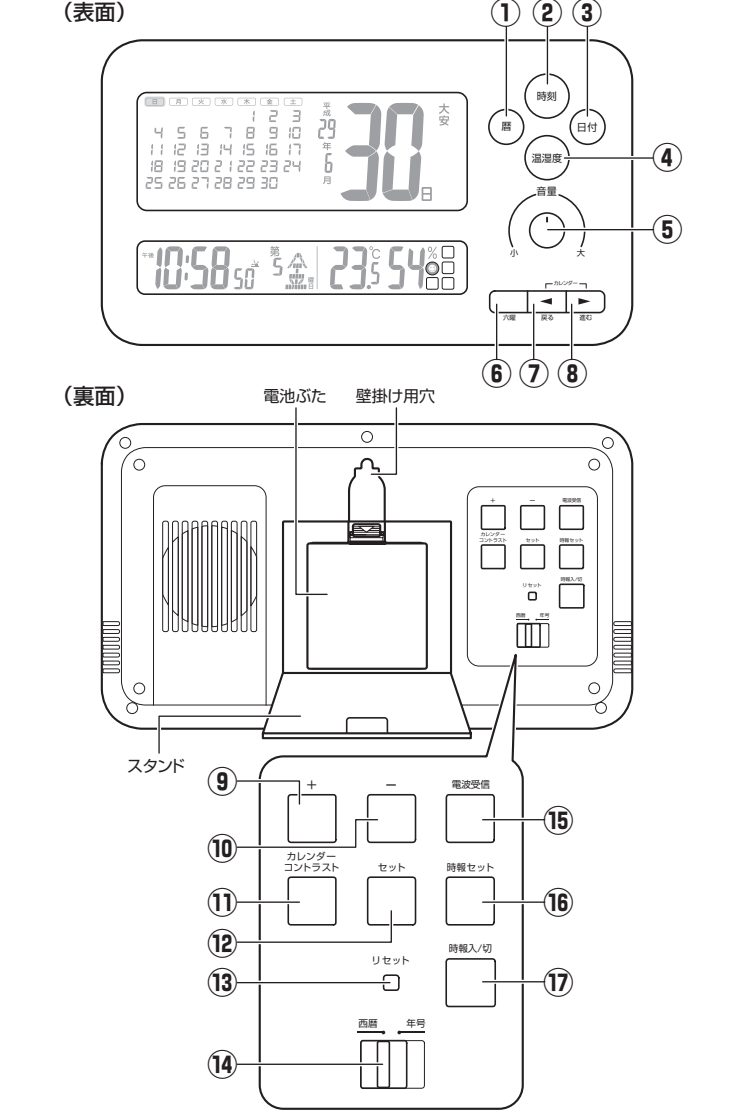
- 極性(⊕ と ⊖ の向き)に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行うと、思わぬけがをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

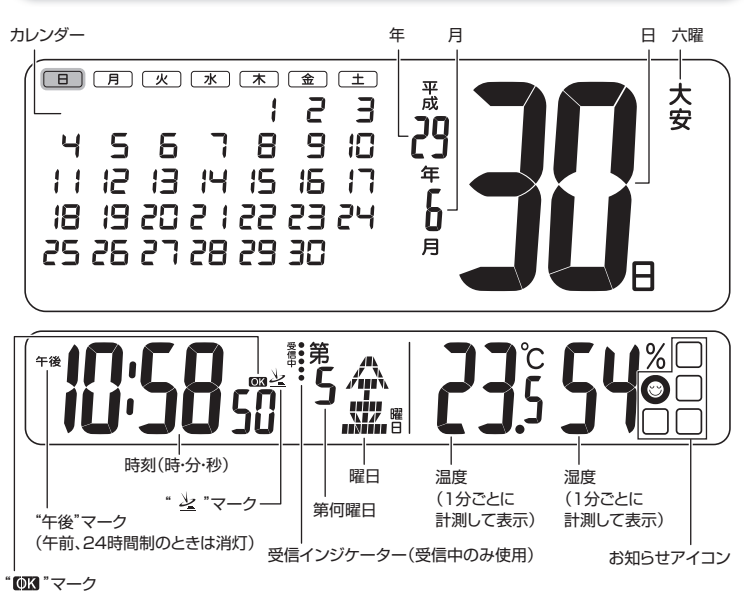
各部の名称

本書に記載している時計のイラストは操作説明用です。実際の製品とは異なることがあります。



注意	
● ボタン操作は動作を確認しながら行ってください。連続で操作したときに、動作が間に合わない場合があります。	
本書の記載	説明
①【暦】	音声ガイドで暦を聞きたいときに押します。
②【時刻】	音声ガイドで時刻を聞きたいときに押します。
③【日付】	音声ガイドで日付を聞きたいときに押します。
④【温湿度】	音声ガイドで温度・湿度を聞きたいときに押します。
⑤【音量】つまみ	時報や音声ガイドの音量を調節するときに使います。
⑥【六曜】	「六曜(大安／赤口／先勝／友引／先負／仏滅)」をカレンダー上で確認するときに押します。
⑦【カレンダー 戻る】	カレンダーを戻すときに押します。
⑧【カレンダー 進む】	カレンダーを進めるときに押します。
⑨【+】	カレンダーや時刻などを変更するときに押します。
⑩【-】	
⑪【カレンダーコントラスト】	カレンダーの表示濃度を調整するときに使います。
⑫【セット】	時刻を合わせるときや、設定項目を選ぶときに押します。
⑬【リセット】	電池を入れたときに押します。 正常に動作するよう、時計を初期状態に戻します。 ● 細い棒などで押してください。
⑭【西暦 年号】スイッチ	カレンダーの西暦表示／年号表示を切り替えるときに使います。
⑮【電波受信】	すぐに電波を受信したいときに押します。
⑯【時報セット】	時報を鳴らす時間帯を設定するときに使います。
⑰【時報入／切】	時報のオン／オフを切り替えるときに使います。

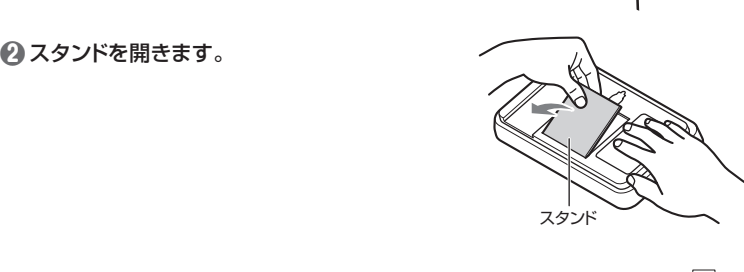
表示について



電池を入れて設置する

① 時計に表示例シールが貼ってある場合には、シールをはがします。

② スタンドを開きます。



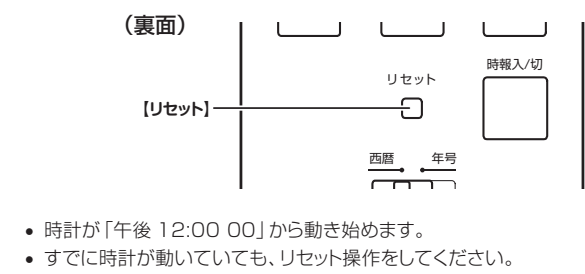
③ 電池ふたを開けます。
① つまみ部分を押しながら
② 矢印の方向に開ける

本書の記載	説明
①【暦】	音声ガイドで暦を聞きたいときに押します。
②【時刻】	音声ガイドで時刻を聞きたいときに押します。
③【日付】	音声ガイドで日付を聞きたいときに押します。
④【温湿度】	音声ガイドで温度・湿度を聞きたいときに押します。
⑤【音量】つまみ	時報や音声ガイドの音量を調節するときに使います。
⑥【六曜】	「六曜(大安／赤口／先勝／友引／先負／仏滅)」をカレンダー上で確認するときに押します。
⑦【カレンダー 戻る】	カレンダーを戻すときに押します。
⑧【カレンダー 進む】	カレンダーを進めるときに押します。
⑨【+】	カレンダーや時刻などを変更するときに押します。
⑩【-】	
⑪【カレンダーコントラスト】	カレンダーの表示濃度を調整するときに使います。
⑫【セット】	時刻を合わせるときや、設定項目を選ぶときに押します。
⑬【リセット】	電池を入れたときに押します。 正常に動作するよう、時計を初期状態に戻します。 ● 細い棒などで押してください。
⑭【西暦 年号】スイッチ	カレンダーの西暦表示／年号表示を切り替えるときに使います。
⑮【電波受信】	すぐに電波を受信したいときに押します。
⑯【時報セット】	時報を鳴らす時間帯を設定するときに使います。
⑰【時報入／切】	時報のオン／オフを切り替えるときに使います。

④ 電池を入れます。
● 注意
● 電池はマイナス極から挿入してください。電池を取り外すときは、プラス極から外してください。
● 重要
● 極性(⊕ と ⊖ の向き)に注意して正しく入れてください。
● 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
● 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
● 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

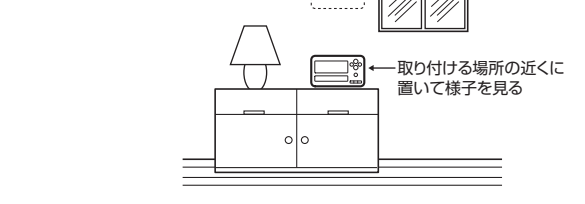
⑤ 電池ふたを閉めます。
① ツメを本体のミソにあわせて
② 矢印の方向に閉める

⑥【リセット】を細い棒などで押します(リセット操作)。



● 時計が「午後 12:00 00」から動き始めます。
●すでに時計が動いていても、リセット操作をしてください。

⑦ 時計を設置する場所の近くに置きます。



- 「午後 12:01 00」になると、自動的に電波受信が始まります。受信動作中は、受信インジケータが点灯／消灯します。
- 置いた場所が電波受信しやすいかどうかを受信インジケータで確認します。
- 電波受信が終了するまで時計に触らないでください。
- 電波受信が終了するまで最長で約 16 分かかります。
- 電波受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

⑧ 時計を設置する場所で、電波を受信できるかどうかを確認します。
「電波を受信できたとき」
現在の年月日と時刻に修正し、「OK」マークと「★」マークが点灯します。

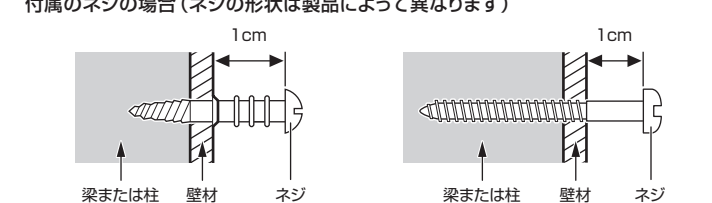


「電波を受信できなかったとき」
年月日や時刻を修正しません。「OK」マークと「★」マークは点灯しません。
● 「電波を受信できないときは」をご覧ください。

⑨ 時計を設置する壁の状態を確認します。

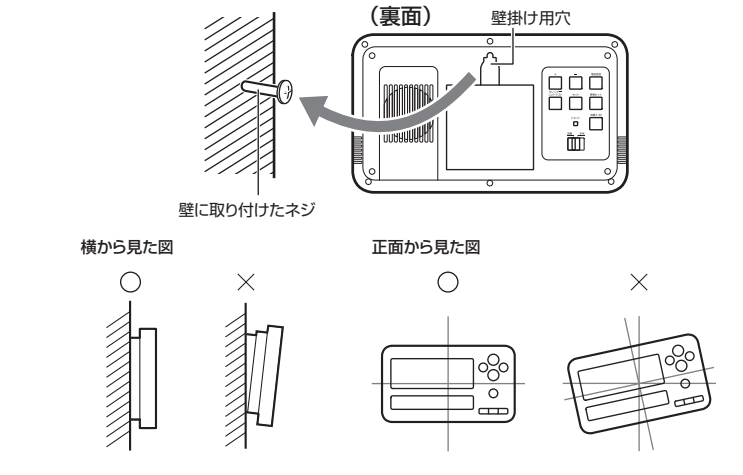
- 掛け具は、しっかりと固定できる場所(梁、木の柱、木質の厚い壁など)に使用してください。しっかりと固定できない場所に使用した場合、時計が落下してけがや故障の原因となることがあります。
- 石膏ボード、コンクリート、薄い化粧板やビナ板などには、必ず材質に適した市販の掛け具をご使用ください。
- 掛け具を取り付ける際には、穴をあけるなど壁に傷をつける施工が必要になります。電波の受信状況を確認し、その場所に設置することを決めてから、取り付けてください。

⑩ 掛け具を壁に取り付けます。
付属のネジの場合(ネジの形状は製品によって異なります)



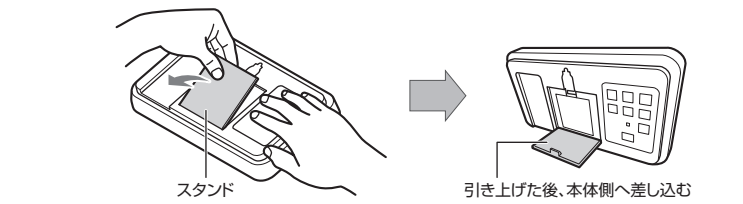
● 市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしたがってください。

- ⑪ 時計を掛け具にかけます。
- かけた後、時計を上下左右、手前に軽く動かして、しっかりかかっていることを確認してください。しっかりかかっていないと、時計が落下してけがや故障の原因となることがあります。
 - 水平位置も正しく合わせてください。



置時計として使う(スタンドを使う)
本機は、裏面のスタンドを起こして、置いて使用することもできます。

- 本機をテーブルなどの平らな場所に置いて、図のようにスタンドの中央を持ち、止まるまで引き上げてください。そのまま、固定されるまで本体側へ差し込んでください。
- スタンドを使用しないときは元の位置に収納してください。



ボタンを押して電波を受信する

すぐに時刻を合わせたいときなど、必要ときにボタンを押して電波を受信します。

①【電波受信】を押すと、受信を開始します。

- 注意
- 電波受信が終了するまで、時計に触らないでください。
 - 電波受信が終了するまで最長で約 16 分かかります。
 - 電波受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

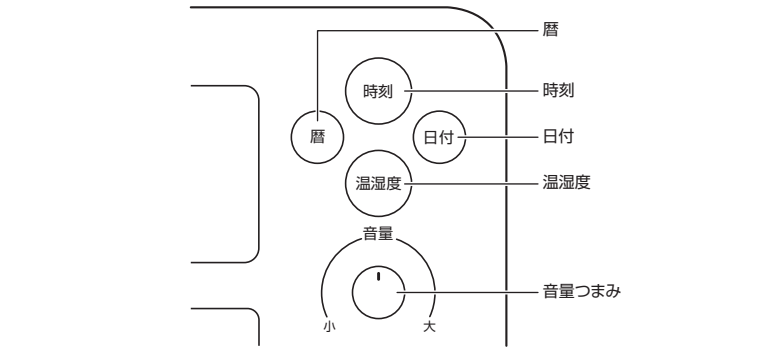
② 電波を受信できたかどうかを確認します。

電波を受信できないときは

- 一昼夜、時計をその場所に置いておきます。昼間は電波が受信できなかった場所でも、夜間には受信できることがあります。電波の状況は、周囲の地形や建物、季節、天候、時間帯(昼／夜)などで変化します(「電波時計について」参照)。
- 定期的に、窓際などの電波を受信できる場所に時計を持っていき、ボタンを押して電波を受信します(「ボタンを押して電波を受信する」参照)。電波を受信した後、設置場所に戻します。
- 手動で時刻などを修正します(「ボタンを押して時刻などを修正する」参照)。この場合の時計の精度は、「製品仕様」に記載している「電波受信による時刻修正ができない場合」の精度になります。
- 時計の設置場所を、電波を受信できる場所に変更します。事前に、電波受信のボタンを押して、新しい設置場所で電波を受信できるかどうかを確認してください(「ボタンを押して電波を受信する」参照)。

音声ガイド機能の使い方

- 音声ガイドボタンの【時刻】、【日付】、【温湿度】、【暦】を押すと、それぞれ音声でお知らせします。



音声ガイドの音量調節
●【音量】つまみで、音量を調節します。

ガイドボタン	音声ガイド例
【時刻】	午後 10 時 58 分です。
【日付】	西暦 2017 年 6 月 30 日金曜日です。
【温湿度】	温度は 23℃ *1、湿度は 54% です。快適です。
【暦】 *2	旧暦は〇月〇日です。 六曜は〇〇です。 二十四節気 *3 は〇〇です。 雑節 *4 は〇〇です。 月令 *5 は〇〇です。

- *1 音声ガイドでは、小数点以下が省略されます。
*2 暦のデータは、2010 年から 2030 年までです。その範囲外は音声ガイドされません。
*3 春分、夏至など、1 年を 24 等分して季節の節目を示す言葉として使われています。
● 日は年によって変動します。

小寒(しょうかん)	清明(せいめい)	小暑(しょうしょ)	寒露(かんろ)
大雪(だいかん)	穀雨(こくう)	大暑(たいしょ)	霜降(そうこう)
立春(りっしゅん)	立夏(りっか)	立秋(りっしゅう)	立冬(りっとう)
雨水(うすい)	小満(しょうまん)	処暑(しよしょ)	小雪(しょうせつ)
啓蟄(けいちつ)	芒種(ぼうしゅ)	白露(はくろ)	大雪(たいせつ)
春分(しゅんぶん)	夏至(げし)	秋分(しゅうぶん)	冬至(とうじ)

- *4 節分、土用など、生活の中から生まれた民俗行事・年中行事を示す言葉として使われています。
● 日は年によって変動します。

冬至用入(ふゆどういり)	春土用入(はるどよういり)	二百二十日(にひゃくはつか)
節分(せつぶん)	八十八夜(はちじゅうはちや)	秋彼岸入(あきびがいのり)
彼岸入(ひがいのり)	入梅(いりうばい)	秋の彼岸(あきのひがのり)
社日(しゃにち)	半夏生(はんげしょう)	社日(しゃにち)
彼岸(ひがのり)	夏土用入(なつどよういり)	秋彼岸明(あきびがのりあけ)
彼岸明(ひがのりあけ)	二百十日(にひゃくとおか)	秋土用入(あきどよういり)

- *5 本機では月齢を月の形で表現しております。代表的な 4 つの形(新月／上弦の月／満月／下弦の月)をガイドします。

新月	上弦の月	満月	下弦の月
月齢 0 前後	月齢 7 前後	月齢 15 前後	月齢 22 前後

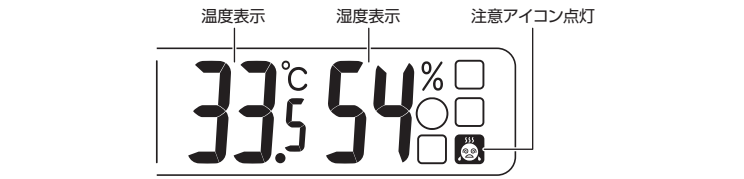
温度・湿度の表示と生活環境お知らせ機能

温度と湿度の計測データをもとにお部屋の状態を分析して、5 つのアイコンと音声でお知らせします。注意が必要な環境になると、4 種類の注意アイコンが点灯または点滅して、注意のレベルを 2 段階でお知らせします。

アイコン点灯：注意
アイコン点滅：さらに注意

- 注意アイコンが消灯→点灯、点灯→点滅、点滅→点灯に変わった場合は、音声でお知らせします。

計測機能について
専門的な計測器ではありません。特に湿度計測につきましては、環境温度によって精度に開きがあります。計測機能は、目安としてお使いください。



- 注意
- アイコンは、手動で点灯／消灯できません。各アイコンの設定範囲から外れると、自動的に消灯します。
 - アイコンが何も点灯しない場合があります(快適とはいえないが、注意アイコンは点灯しない環境です)。

各アイコンの意味と説明

アイコン	意味	説明
	快適な状態	原則として、温度 20 ～ 28℃・湿度 40 ～ 60% の範囲のとき、表示されます。ただし、注意アイコンが点灯する環境では消灯します。
	“風邪引き” 注意	風邪ウィルスが活性化しやすい環境のとき、表示されます。
	“乾燥肌” 注意	肌乾燥(荒れ)に注意が必要な環境のとき、表示されます。
	“カビ・ダニ” 注意	カビ・ダニが発生しやすい環境のとき、表示されます。
	“熱中症” 注意	熱中症になりやすい環境のとき、表示されます。

- お知らせアイコンは、一般財団法人 日本気象協会との共同企画で開発しています。
- 一般財団法人 日本気象協会では生活に密着した気象情報を提供しています。詳しくはホームページ <http://tenki.jp/> をご覧ください。
- お知らせアイコンは、あくまで目安としてご使用ください(各お知らせアイコンが点灯または消灯していても安全性を保障するものではありません)。
- 万一、本機能により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社同様一般財団法人 日本気象協会でも一切その責任を負えません。ご使用の際は利用者の責任においてご使用ください。

お知らせアイコンと音声ガイドについて

注意アイコンが点灯または点滅状態に切り替わったときと毎正時に生活環境を音声ガイドします。

- 注意アイコンが点灯・点滅したとき最初に音声ガイドしたあと環境に変化がない場合でも、5 分おきに 2 回繰り返して音声ガイドします。

- 音声ガイドを使うときは、【温湿度】を約 5 秒以上押し続けます。
 - “環境ガイドオフ” マークが消灯します。
- 音声ガイドを解除するときは、【温湿度】を約 5 秒以上押し続けます。
 - “環境ガイドオフ” マークが点灯します。



